

当初計画と研究会記録

1. 当初計画

研究題目

2014 年度～2018 年度 科学研究費 基盤研究(B) 課題番号:26284020
「ヘーゲル美学講義に結実した芸術体験の実証的研究」

研究目標

- (1) ヘーゲルの「美学講義」に結実するヘーゲルの美学体験を、絵画論に限定して検証し、ヘーゲルがどのような絵画作品を見て講義を組み立てたのかを明らかにする。そのために、現存する講義筆記と書簡集を分析する。
- (2) ヘーゲルの「美学講義」を同時代の美学理論・芸術理解と比較検討し、ヘーゲル「美学講義」の意義を再検討する。
- (3) ヘーゲルの「美学講義」における絵画論を 19 世紀初頭のヨーロッパにおける近代的な美術館形成の歴史と重ね合わせることで、啓蒙主義以降の「芸術」概念の成立に果たしたヘーゲル美学の役割を明らかにする。

研究組織

研究代表者：石川 伊織 ヘーゲル「美学講義(1820/21)」翻訳・分析、データベース構築とデータ整理
研究分担者(五十音順)： 笠原 賢介 独仏啓蒙主義研究
 神山 伸弘 ヘーゲル「美学講義(1823・1826)」翻訳・分析・書簡集分析
 小島 優子 ヘーゲル「美学講義(1823・1826)」翻訳・分析
 (2014 年度のみ研究協力者・2015 年度以降研究分担者)
 後藤 浩子 英仏啓蒙主義研究
 柴田 隆行 ヘーゲル書簡集分析・芸術政策研究
 村 田 宏 18-19 世紀の芸術思想
 山根 雄一郎 カント美学研究・ドイツ啓蒙主義研究(2015 年度以降)

研究方法・研究計画

- (1) ネットワーク環境を利用してテキストと画像のデータベースを構築し、さらに共同研究者間の情報の交換と最新データの配信を行う。
- (2) 共同研究者間で研究の進捗と成果とを確認・共有するために、年 3 回の研究会を開催する。
- (3) 資料の探索：現在刊行されているヘーゲル美学講義のテキストを可能な限り蒐集する。
- (4) 1820/21 年のテキストをもとに、各年次の講義の構造・枠組みを比較検討するとともに、ヘーゲル訪問時の美術館カタログを元に、ヘーゲルが実見している絵画作品を確定する。当該作品のヘーゲル在世時の

公開状況と現在の所在等を調査する。

- (5) ヘーゲルの同時代の美学理論書を蒐集し、ヘーゲルとの関係を検討する。
- (6) 19 世紀初頭のヨーロッパ諸国、とりわけ独・仏・英における芸術政策を調査・研究する。
- (7) 以上の知見に基づき、ヘーゲルが見た作品、訪れた美術館について現地調査を行う。
- (8) 19 世紀初頭のヨーロッパ各国における芸術政策を、啓蒙主義からロマン主義への転換の中での芸術思想の展開と、この具体的な実現としての美術館の歴史を通して考察する。
- (9) 研究成果を学会発表とシンポジウムを通して公開するとともに、報告書にまとめる。報告書の収録の資料は WEB 上で公開する。

2. 研究会記録

2014 年度

- 第一回研究会 2014 年 5 月 10 日(土曜日) 午後 2 時から
会場: 法政大学市ヶ谷校舎 ボアソナードタワー6F 606 教室
参加者: 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・小島優子(研究協力者)
- 第二回研究会 2014 年 11 月 29 日(土曜日) 午後 1 時から、30 日(日曜日) 午前 10 時から
会場: 法政大学市ヶ谷校舎 80 年館 7F 会議室
参加者: 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・小島優子(研究協力者)
- 第三回研究会 2015 年 2 月 25 日(水曜日)、午後 1 時から
会場: 法政大学市ヶ谷校舎 ボアソナードタワー6F 603 教室
2015 年 2 月 26 日(木曜日)、午前 10 時から
会場: 法政大学市ヶ谷校舎 80 年館 7F 中2会議室
参加者: 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・小島優子(研究協力者)

2015 年度

- 第四回研究会 2015 年 5 月 23 日(土曜日) 午後 1 時から、24 日(日曜日) 午前 10 時から
会場: 法政大学市ヶ谷校舎 80 年館 7F 会議室
参加者: 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎
- 第五回研究会 2015 年 9 月 17 日(木曜日) 午後 1 時から、18 日(金曜日) 午前 10 時から
会場: 新潟県立大学 1 号館 B 棟 3F 教室
参加者: 石川伊織・神山伸弘・小島優子・後藤浩子・柴田隆行・山根雄一郎
- 第一次調査旅行打合せ会 2016 年 2 月 7 日(日曜日) 午後 1 時から
会場: 跡見学園女子大学 文京キャンパス M1302 会議室
参加者: 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎
- 第一次調査旅行 ハーグ・アムステルダム・ミュンヘン
2016 年 2 月 17 日 成田発
2 月 18 日－2 月 19 日 マウリッツハイス美術館調査
2 月 19 日 トリップペンハウス(旧アムステルダム王立美術館・現オランダ学士院)調査
2 月 20 日－21 日 アムステルダム国立美術館および同ライブラリー調査
2 月 22 日－23 日 ミュンヘン・アルテピナコテーク美術館および美術史中央研究所調査

2月23日 グリプトテークおよび古代美術博物館を調査

2月24日 ミュンヘン発・アムステルダム経由で帰国

参加者：石川伊織、神山伸弘、小島優子、村田宏(後藤浩子はオランダ調査にのみ参加)

第六回研究会(調査報告会) 2016年3月10日(木曜日) 午前10時から

会場： 跡見学園女子大学 文京キャンパス M1302 会議室

参加者：石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

2016年度

第七回研究会 2016年6月11日(土曜日) 午前10時から、12日(日曜日) 午前10時から

会場： 跡見学園女子大学 文京キャンパス M1302 会議室

参加者：石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

第二次調査旅行検討会 2016年7月24日(日曜日) 午前10時から

会場： 跡見学園女子大学 文京キャンパス M1302 会議室

参加者：石川伊織・神山伸弘・柴田隆行

第八回研究会 2016年9月24日(土曜日) 午前10時から

会場： 法政大学市ヶ谷校舎 80年館 6F 文学部資料室・マルチ会議室

2016年9月25日(日曜日) 午前10時から

会場： 法政大学市ヶ谷校舎 80年館 7F 丸会議室

参加者：石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

日本ヘーゲル学会第24回大会におけるシンポジウムのための打ち合わせ会

2016年12月3日(土曜日) 午後6時から

会場： 東洋大学白山校舎 2号館 4F 柴田研究室

参加者：石川伊織・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

日本ヘーゲル学会第24回大会 シンポジウム 2016年12月10日(土曜日) 午後2時30分から

会場： 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー13階 1133教室

提題者：石川伊織・柴田隆行・村田宏

司会： 佐藤康邦(日本ヘーゲル学会)

参加者：笠原賢介・神山伸弘・小島優子・後藤浩子・山根雄一郎

シンポジウム・テーマ：「ヘーゲルの絵画論：ヘーゲルは何を見て、何を考えたか？——ヘーゲル

美学講義に結実した芸術体験をめぐって」

石川伊織： 「ヘーゲルの絵画論：ヘーゲルは何を見て、何を考えたか？」

柴田隆行： 「ヘーゲルの絵画論」

村田 宏： 「ヘーゲルのルーヴル美術館体験を考えるために」

第二次調査旅行

ケルン・カッセル：柴田隆行・山根雄一郎

3月1日(水曜日)ー3月10日(金曜日)

調査地：ケルン・ヴァルラフ-リヒャルツ美術館、リュヴァースベルク美術館、アーヘン、ブラウンシュヴァイク、カッセル他

パリ・ブリュージュ：後藤浩子・村田宏

2月25日(土曜日)ー3月6日(月曜日)

調査地：ブリュージュ、ヘント、ルーヴル美術館他

ヴィーン：小島優子・石川伊織

2月15日(水曜日)－2月26日(日曜日)

調査地：ヴィーン美樹脂美術館、オーストリア国立図書館、フォルヒテンシュタイン城、ザルツブルク他(ただし、石川はザルツブルクとリヒテンシュタイン宮殿の調査を小島に託して、2月23日にドレスデンへ向かった。ドレスデン担当予定の笠原が参加不可能になったためと、リヒテンシュタイン宮殿の開館日と滞在日程が合致しなかったため)

ドレスデン：神山伸弘・石川伊織

2月23日(木曜日)－3月4日(土曜日)

調査地：ドレスデン・アルテマイスター絵画館、キューゲルゲン博物館、ドレスデン芸術資料館他

2017年度

第九回研究会(調査報告会) 2017年4月15日(土曜日)午前10時から、16日(日曜日)午前10時から

会場： 跡見学園女子大学 文京キャンパス M1302 会議室

参加者： 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

第十回研究会 2017年7月9日(日曜日)午前10時から

会場： 法政大学市ヶ谷校舎 80年館 7階 丸会議室

参加者： 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

第十一回研究会 2017年9月23日(土曜日)午前10時から

会場： 法政大学市ヶ谷校舎 80年館 6階 文学部資料室内 マルチ会議室

参加者：

参加者： 石川伊織・笠原賢介・神山伸弘・小島優子・後藤浩子・柴田隆行・村田宏・山根雄一郎

研究会のほかに、共同研究者各自が報告書原稿執筆に取り組むとともに、編集作業を行う。

2018年度

法政哲学会第三十八回大会 研究発表 2018年5月26日(土曜日)午後2時から

会場： 法政大学市ヶ谷校舎 ボアソナードタワー26階スカイホール

発表者： 石川伊織

テーマ： ヘーゲルの見た絵画

——19世紀初頭における絵画作品の〈移動〉とヘーゲル『美学講義』——

共同研究者の報告書原稿執筆の継続と、編集作業を続行。